



ARIGATO
SERVICE

きっと・未来は・懐かしい

クエスト：酪農歴60年の経験を未来につなぐ、山地で放牧する牛の個体記録をDXせよ！



[会社概要はこちら](#)

私たちありがとうサービスは、「世のため人のため」のもと、お客様から「ありがとう」と言っていたただける仕事を追求しています。会社を学びと成長の舞台とし、十分な収益を上げ続けながら、教育とスポーツを通じて社会に貢献することを経営目的に掲げており、私たちは「リユース事業」、「フードサービス事業」、「地方創生事業」を通して、笑顔を広げる事業運営を行っております。 **今回提案してほしいテーマは、「地方創生事業：酪農」です。**

私たちは愛媛県内子町で、山の斜面を活用した山地放牧酪農を行っています。牛は山の中を自由に歩き、牧草を食べ、自然に近い環境で生活しています。この牧場は、長年酪農を続けてきた熟練酪農家（80代）の経験と観察力によって支えられおり、牛のわずかな体調変化、乳房炎の兆候、発情のサイン、種付けのタイミング、分娩予定、治療や投薬の判断など、多くの管理が熟練者の経験則に基づいて行われています。

しかし、彼の頭の中にある牛の飼育に関するノウハウを若手スタッフへどのように引き継ぐかが大きな課題です。また、牛の飼育に関する各種データ（体調、体重、体格、乳量、発情周期、種付け、分娩予定、治療、投薬履歴など）を一元的に管理する仕組みも十分ではありません。

そこで、熟練酪農家の経験や牛の健康管理情報をデジタルの力で効率化させ、経験の少ない若手スタッフでも熟練酪農家に負けないような品質の牛を飼育できる仕組みを作りたいと考えています。

クエストの 背景・詳細

開発してほしい 技術・サービス (参考例)

- ✓ 放牧している牛を「見守る」ために、現場で得られる情報を“見える化”するデジタル支援サービス
- ✓ 個体ごとの異変の早期発見や注意対象の優先付け、熟練者の知恵の共有などを通じて、判断と対応を助ける仕組み

活用できる 武器(材料)

- ☞ 酪農家が蓄積した60年の経験・知識
- ☞ 若手スタッフによる日々の観察記録（個体ごとの異常記録、治療記録、試料記録等）
- ☞ 月に一度の外部機関による牛群検定記録（個体ごとの乳量、乳房炎の兆候等）

